

JR東・ローカル線24年度収支発表

地方路線の「赤字」宣伝も 運輸部門1760億の黒字

久留里線・久留里～上総亀山間の収支

	2022年度	2023年度	2024年度
運輸収入	100万円	100万円	300万円
収支	△2億4500万円	△2億3500万円	△1億9900万円
営業係数	1万6821円	1万3580円	6694円

※JR東日本発表資料より



これまでJRは同区間が「廃線対象」になることをあえて促進してきました。

JRは「廃線方針」を発表し、一方的に廃線を強行しようとしています。

「もったいも採算性の悪い区間」と宣伝された久留里線の上総亀山間について、

久留里線赤字は大幅改善

JR東日本は10月27日、ローカル線36路線・71区間の24年度収支を公表しました。「赤字総額790億円」と報道されています。一方、「平均通過人員2千人未満」の対象区間は1つ減っています。

列車を削減し続け、日中帯に5時間半も列車がないようなダイヤにしたのです。しかし、その久留里～上総亀山間の昨年度の利用状況は大きく改善しています。

「脱鉄道化」の攻撃に怒りの声を

そもそも、「赤字だ」と大宣伝して地域に廃線を飲ませようということ自体が許せません。

また、JR東日本の24年度運輸部門は1760億円の黒字です。JR発表の収支(算出根拠が隠されており疑問の声がある)で考えても、久留里～上総亀山間の赤字はわずからです。「持続可能性に問題」など真っ赤なウソです。

これまでも巨額の黒字を上げ続けてきたJR東は、不採算路線でも被災路線を除いて廃線には踏み切れませんでした。久留里～上総亀山間は、既成事実をつくって全面的な廃線化に踏み出す「突破口」に位置づけられています。

全面的な廃線化攻撃は、組織・人事・賃金制度の抜本的な改悪と同じく、「脱鉄道化」攻撃の一環です。地域の生活も、鉄道業務とそこで働く仲間もないがしろにするなど許せません。地域の怒りとともに職場から声をあげよう。